

記入例(運輸)
(旅客、陸運、海運、航空貨物等)

別記
様式第1号 (第10条、第11条、第13条の3関係)

温室効果ガス排出抑制計画書

平成30年 7月11日

宮崎県知事 殿

【住所】県内に事業所を有し、事業活動を行っている事業者の住所
【氏名】代表者の氏名
(法人の場合は名称及び代表者職・氏名)
※本社等から委任を受けて提出する場合は、「委任状」(任意様式)を添付の上、委任を受けた者の住所、氏名を記入し提出することも可能。

住所 宮崎県〇〇市〇〇丁目1番23号
株式会社 △△運輸
氏名 代表取締役社長 宮崎 次郎 印

みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例第6条の規定により、次のとおり提出します。

「計画書」を作成・提出した担当者の連絡先を記入

| | | |
|-----|---------|-------------------------------|
| 連絡先 | 担当部署名 | 総務課CSR担当 |
| | 住所 | (〒880-〇〇〇〇) 宮崎県〇〇市〇丁目1番23号 |
| | 担当者氏名 | 日向 波子 |
| | 電話番号 | 0985-〇〇-1234 |
| | FAX番号 | 0985-〇〇-2345 |
| | メールアドレス | hyuga-namiko@x x x |

車両に使用したエネルギー(揮発油・軽油)の使用量(原油換算)を記入
※対象となるエネルギーは「省エネ法」と同じ
算出方法

「計画書」を提出する年度の前年度

| | | |
|--------|--|---|
| 前年度の状況 | 前年度のエネルギー使用量(原油換算) | _____ 8.93 _____ kl |
| | 前年度のエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出量 (排出量が3,000t (CO ₂ 換算)を超えるもののみ記入) | (_____) t-CO ₂ |
| | | (_____) t-CO ₂ |
| | 前年度末の車両台数 | <input checked="" type="checkbox"/> トラック _____ 3.6 台 <input type="checkbox"/> バス _____ 台 <input checked="" type="checkbox"/> タクシー _____ 3.5 台 |

運輸事業の用に使用する車両として、宮崎運輸支局へ登録している車両の台数が基準以上の車種すべてに (または) とその台数を記入(被けん引車を除く)

この様式は公表します

いずれかに☑(または■)を記入

(別紙)

| | | | | | |
|------------------------|---|-----------------------------|--|-----------------------------|---|
| 提出書類の区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 温室効果ガス排出抑制計画書 <input type="checkbox"/> 温室効果ガス排出抑制計画書(変更) | | | | |
| 住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) | 宮崎県〇〇市〇〇丁目番23号 | | | | 「計画書」1枚目に記載した事業者の住所、氏名を転記 ※委任を受けて提出している場合は、本社等(委任元)の住所、代表者の氏名を記入 |
| 氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) | 株式会社 △△運輸 代表取締役社長 宮崎 次郎 | | | | 「日本標準産業分類の 中分類」から選択記入 |
| 主たる業種 | 43 道路旅客運送事業 44 道路貨物運送事業 | | | | |
| 事業概要 | タクシー事業 トラック事業(県内) | | | | |
| 事業者の区分 | <input type="checkbox"/> みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第9条第1号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第2号に該当する特定事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 同規則第9条第3号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第4号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の者 | | | | |
| 計画期間 | 30年度～34年度 | | | | |
| 排出状況及び温室効果ガスの排出量の目標 | 目標設定の方法 | 基準年度の実績① (29)年度 | 前年度の実績 ()年度 | 目標年度② (34)年度 | 増減率 (②-①)/①×100 |
| | 総排出量 | 2,322 t-CO ₂ | 前年度と 基準年度が 同じ年度の 場合は、 記載不要 | 2,310 t-CO ₂ | ▲0.5 % |
| | 原単位の排出量 | 0.0929 t-CO ₂ | | 0.0883 t-CO ₂ | ▲5.0 % |
| 原単位の考え方 | 1台あたりの走行距離あたりの排出量(t-CO ₂ /km) | | | | |
| 目標達成のための基本方針 | 平成34年度までに、基準年度比で(原単位)5%削減する。 | | | | |
| 目標達成のための推進体制 | 社長を筆頭に、車両運行管理担当の課長を中心として、継続的な取組を行う。 | | | | |
| 目標達成のための措置の内容 | ・社内でエコドライブに関する講習会を実施する。 ・運行管理簿を作成し、走行距離及び燃料使用量を把握し、燃費の「見える化」を図ることで、エコドライブを意識づけている。 | | | | |
| 特記事項 | 平成29年度の車両更新時に、低燃費車5台を導入。 | | | | |

該当する箇所すべてに☑または■を記入
※運輸事業者は第3号に該当

基準年度は、原則として計画期間の前年度

原単位の排出量の設定は任意。

事業者として目標達成のための基本方針、推進体制、措置の内容、特記事項(これまでの取組等)を記入

事業の概要を簡潔に記入

5ヶ年以内で計画期間(取組期間)を設定する

原単位の排出量を記載した場合は、必ず記入

備考 1 「基準年度」は、原則として計画書を提出する年度の前年度とすること。ただし、提出者が別に基準となる年度を定めている場合は、当該年度を基準年度とすることができる。
2 提出者の計画が温室効果ガス排出量削減に向けた取組であるにもかかわらず、事業拡大等の理由により温室効果ガス排出量が増加する見込みである場合は、原単位による目標を設定することができる。この場合、「原単位の排出量」とは、「総排出量」を当該年度の生産数量、建物延床面積その他の温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値で除して算出した値とし、併せて「原単位の考え方」についても記入すること。